

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2025 年 4 月 17 日開催分)

開催年月日 : 2025 年 4 月 17 日(木) 11:00~12:00

開催場所 : 株式会社 WOWOW プラス内 Space17C 会議室

出席 : 番組審議員 7 名

インターローカルメディア 2 名

WOWOW プラス 8 名

出席者

[審議員] 青木眞弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] (インターローカルメディア株式会社)

久保政史、佐藤肇

(株式会社 WOWOW プラス)

宮澤辰之、森田健介、松田健吾、植竹伸剛、青木昭、高木慶、
内藤友基 (記録撮影)、高野佳彦(書記)

- 議題 : (1) 2025 年 1 月~3 月の「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) 「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項 : 2025 年 1 月~3 月の「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について

株式会社 WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項 : [審議番組]

『南こうせつの素顔 ~おいちゃんの今~ 林部智史 音楽を訪ねて』

<審議番組概要>

1970 年にデビューし、歌手生活 55 周年を迎えた南こうせつ。かぐや姫で「神田川」「赤ちょうちん」「妹」、ソロとして「夢一夜」「夏の少女」など多くのヒット曲を持ち、未だに多くの人を魅了している。「おいちゃん」という愛称で親しまれる彼は数多くのライブやチャリティーコンサートを開催してきた一方で 30 代に大分県に移住、そこを拠点に今なお活動を続けている。今回そんな南こうせつの素顔とは何か?を求めて大分を訪れるのは、たぐいまれな声を持つ歌手 林部智史。スペシャル企画として、南こうせつと林部智史による世代を超えたアーティストの TALK&SONG セッションもお届け。

- ・本番組の構成や編成内容についてのご意見を賜りたい

審議内容 : ■審議員意見

- ・南さんがずっと大分の方に、普段住んでらっしゃるっていうのは知らなかったが、土地柄に触れ、お兄さんのお寺の事やイルカさんのコメントもあり、南さんの本当にルーツと流れを、短い時間でうまくまとめながら、それを林部さんが訪ねていく構成で、最後に 2 人出会うという構成が良く、音楽もアーカイブもあり生歌もありで音楽ドキュメンタリーとして非常に安心して楽しく見られた。制作チームとアーティストとの関係性を繋げていくことを非常に大事にされていることが感じられた。

- ・豊富な過去写真、イルカから多数の証言者の映像、更に共立講堂ロケや地元用楽曲 PV のメイキングまで、手間ひまかけて丁寧な南こうせつ氏の半生を映像化していた。一方で、なぜ林部氏が南氏の音楽的ルーツを探る旅に出たのか、その動機の訴えが希薄だったせいか、受け取り側としては両者の視点が錯綜する感じとなり少し見づらい印象もあった。
- ・今回は林部智史さんと南こうせつさんのやり取りがメインだろうと見ていたが、南こうせつさんの大分との関係など、個人的な側面が特に面白く、イルカさんやこうせつさんの生き方に対するインタビュー展開も分かりやすく良かった。一方、林部さんとのジョイントに関してはナレーションが説明過多に感じられ、もっと林部さん自身の言葉で語らせるようにしたら良かったのでは。こうせつさんはレジェンドなので、解説よりもご本人の言葉で語っていただく方が、分かっているファンにとってはより深く感じられると思う。
- ・厳しいことを言うようだが、私から見たら「無難すぎ」「ちょっと苦しいな」、という印象。南さんと林部さんの接点がない時点でこの企画は苦しい。「困った時のこうせつさん」になっていないか。今回は南さんが「私には作詞の才能がない」と語っていたところがポイントで、そのマイナスを埋めるために作詞家喜多條忠さんと組む、伊勢正三さんを発掘する、それなしに「神田川」は生まれていないこと、歌詞にある「ただ貴方のやさしさが怖かった」の多様な解釈などに繋げて欲しかった。また、南さんが触れていた「最後の着地」についても取り上げて今や「生きていることがメッセージ」である南さんの存在や今後、について掘り下げて欲しかった。
- ・南こうせつさんとイルカさんが紅白に出演したことで注目されている中、それに乗っている、という第一印象。林部さんは少し注目して見ているのだが、なぜ南こうせつさんと共演しているのか、というところでの二人の絡み、関わりが知ればもっと面白くなったのではないかと思う。とはいえ、全体的には、私の年代の人には特に刺さる、面白い番組だったと感じた。
- ・とても面白く見られた。南こうせつさんの素顔に触れられるところが面白く、特に故郷大分でのルーツや、お兄さんの話、杵築市の人々との温かい交流などが印象的で、あまり知らなかった彼のパーソナルな側面が垣間見えたように思う。林部さんに対する「自分の言葉とメロディが一緒になった時に魂の波動になって感動を与えられる」というある種後輩へのメッセージとそれを受け止める林部さんの姿、こうせつさんの「悲しい顔を見るのは嫌だから幸せにできるならなんでもやる」という人生への前向きな姿勢などがとても印象的。このようなメッセージが発信できる方が語ってくれる、語れるうちにたくさん番組にして残していってほしい。
- ・南こうせつさんという方が、人格者であるということが初めて分かったように思う。心のある限り大地に腰を据えて、自然に生きていく、そんな力強さが感じられた。

連絡事項： 次回番組審議会は、2025 年 7 月 17 日(木)午前 11 時(予定)より開催。

以上